

元気からだ! Q&A

声帯結節とは

どんな病気?

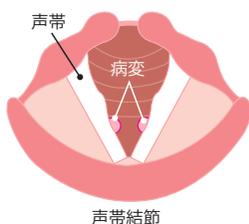
千葉大学大学院医学研究院
耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学
鈴木猛司 医師

声を出す仕組みについて

私たちは声を使いコミュニケーションをとっています。喉ぼとけ(甲状軟骨)の中には声帯があり、発声だけでなく呼吸や嚥下にも重要な役割を果たしています。左右1対の声帯は前方でくっついており、呼吸時は多くの空気が通過できるようにV字となり、発声時はV字からII字のようにピタッと閉じて、その隙間を通過する呼気が声帯を振動させて声の元を生じさせます。つまり、声帯がピタッと閉じず、呼気による声帯振動が起りにくいと、良い声は出ず「声がかすれる」ことになり

Q 声帯結節ってどんな病気なの?

A 長い時間大声を出していると、発声時声帯粘膜波動の振幅が大きく強い衝突が生じる部分(声帯の前方1/3)に両側性の「たこ」のようなもの(隆起性病変)ができます。このたこのような



ものにより、声帯がピタッと閉じないために「声のかすれ」を引き起こす病気が声帯結節です。この病気は、大きな声を出す小学校低学年の男児や若い女性、声をよく使う職業(教師、保育士、インストラクター、歌手など)の方に好発します。

Q 受診のタイミングは?

A 声帯ポリープ*や声帯癌など他の病変でも「声のかすれ」が生じますので、1週間以上改善がない場合は、お近くの耳鼻咽喉科医を受診し、喉頭内視鏡で診察されることを

お勧めします。

喉頭内視鏡は当日にすぐできる検査で、鼻から細いカメラを入れ声帯を確認します。



*主に片側の声帯にポリープ(血腫...ふくらみ)が生じる病気で。

Q 治療方法は?

A 声帯結節は長時間、大声を出すことが主な原因となります。また、声の安静が一番の治療となります。また、声の衛生指導を行い、声の出るメカニズムやするべきこと、控えることを理解し実行してもらうことで改善を図ります。これは予防にもつながります。積極的に、言語聴覚士から発声訓練を行うこともあります。炎症をとるためのステロイド吸入や、胃酸逆流が関与している場合は胃酸分泌抑制薬などの薬物治療を併用する場合もあります。難治性の場合には手術治療を検討することもあります。